

# 効果的な保健指導事業と 人材育成

千葉大学大学院看護学研究科

宮崎 美砂子

2010.5.18

## 進捗状況からみた特定保健指導事業の課題

### 健診受診率の確保

- 40歳代, 50歳代の健診率が伸びない
- 周知の浸透, 関心の喚起, 健診を受け易い条件づくりへの対応は?

### 保健指導実施率の確保

- 希望者が少ない
- 保健指導への理解・関心をどう高めるか? 未参加者への対応への対応は?

### 受診勧奨者, 受療者 への対応

- 受診勧奨判定値を超える人が予想以上に多い。対応のシステム化は?

### アウトソーシングに対する 医療保険者の役割

- アウトソーシング先に役割発揮してもらうには?
- 医療保険者としての役割は? アウトソーシング先に期待する役割は?

### 特定保健指導後の 受け皿

- 健康増進事業との関係づけは?
- 地域住民による自主的な健康づくり活動は? 地域の人材育成は?

## 進捗状況からみた特定保健指導事業の課題

## 開発すべき能力

### 健診受診率の確保

- 40歳代, 50歳代の健診率が伸びない
- 周知の浸透, 関心の喚起, 健診を受け易い条件づくりへの対応は?

### 保健指導実施率の確保

- 希望者が少ない
- 保健指導への理解・関心をどう高めるか? 未参加者への対応への対応は?

### 受診勧奨者, 受療者への対応

- 受診勧奨判定値を超える人が予想以上に多い。対応のシステム化は?

### アウトソーシングに対する医療保険者の役割

- アウトソーシング先に役割発揮してもらうには?
- 医療保険者としての役割は? アウトソーシング先に期待する役割は?

### 特定保健指導後の受け皿

- 健康増進事業との関係づけは?
- 地域住民による自主的な健康づくり活動は? 地域の人材育成は?

課題に対する  
問題探求力  
(実態調査の企画・分析力)

問題共有化に向けての提起力・  
取組に向けての組織形成力

取組に対する事業の企画・推進力  
(PDCAサイクル稼働力)

取組結果に基づく評価・リフレクション力

## 実践能力の向上は実践と内省の繰り返し

内省＝振り返り, リフレクション

正解のない, 不確実性の伴う支援だからこそ, とりわけリフレクションが重要となる

リフレクションを通して実践の経験から学ぶこと, その習慣が大切

リフレクションは専門職教育に必要なものだという認識が高まっている

経験からの学びやリフレクティブな能力の開発は, 支援者(メンター)の存在を通して, 強化される

# リフレクションとは

- 経験によって引き起こされた気にかかる問題に対する内的な吟味および探究の過程であり、自己に対する意味づけを行ったり、意味を明らかにするものであり、結果として概念的な見方に対する変化をもたらす。

BoydとFales(1983)

自己への気づき、記述、批判的分析、総合及び評価のスキルがリフレクションを行うときに求められる

リフレクションを行う者が自分の感情を十分振り返ることができるように、安全で、暖かく、信頼深い状況を環境として作り出す必要がある

A県での人材育成研修講師の経験から：

「保健指導スキルアップ研修：効果的な保健指導を効率よく実施する工夫」の単元で設定した到達目標

- 自分の所属・関係する医療保険者が実施主体の特定健診・特定保健指導において
  - ①取組みの工夫点、課題についてそれぞれ説明できる
  - ②H22年度の計画修正に、優先的に反映すべき課題を明らかにできる(誰の・何に関する問題・取り上げる理由)
  - ③上記課題について「住民の健康づくりに対する主体性の育成」「健康づくりに対する環境・条件づくり」の各観点から、取り組むべき具体的活動を提示できる
  - ④強化すべき自分の役割について明確にできる

## 保健指導事業のねらい(開発すべき能力の向かう方向)

### 健康づくりに対する主体性の育成

- 情報提供, 動機づけ, 目標設定, 効果的実践方法の指導, 励まし・相談

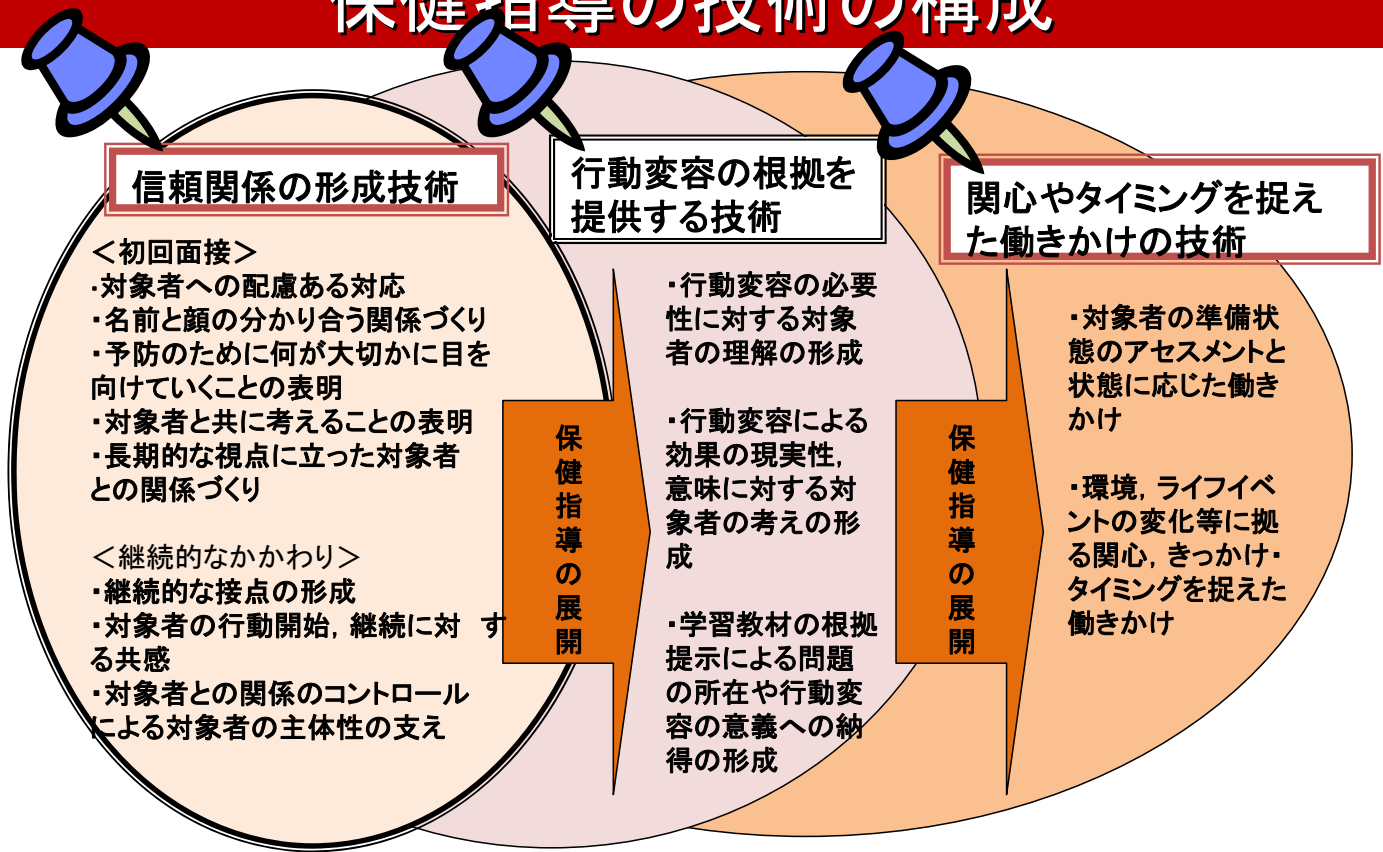
### 健康づくりのための環境や条件づくり

- 実践の場・仲間づくり
- 家族・地域への取組の浸透・波及
- 地域(職場)の風土づくり
- 資源・人材の整備とネットワーク

## 効果的な保健指導事業の技術(1) —コアとなる技術—

- 健康づくり・生活習慣の改善という, 目標の見えにくい, 取り組みの成果を実感しにくい事柄に対して, 人々が価値を置き, 主体的に行動できるようになるには, **信頼できる支援者からの働きかけ, 関わり**が欠かせない
- 人材育成においては, 信頼関係形成を基軸に, 対象者の主体性ある行動を支援できる能力開発が必須となる

# 健康づくりの主体性を育てる 保健指導の技術の構成



金川克子監修，宮崎美砂子編集：効果的な面接技術と事業展開から学ぶ保健指導，中央法規，9  
2009.

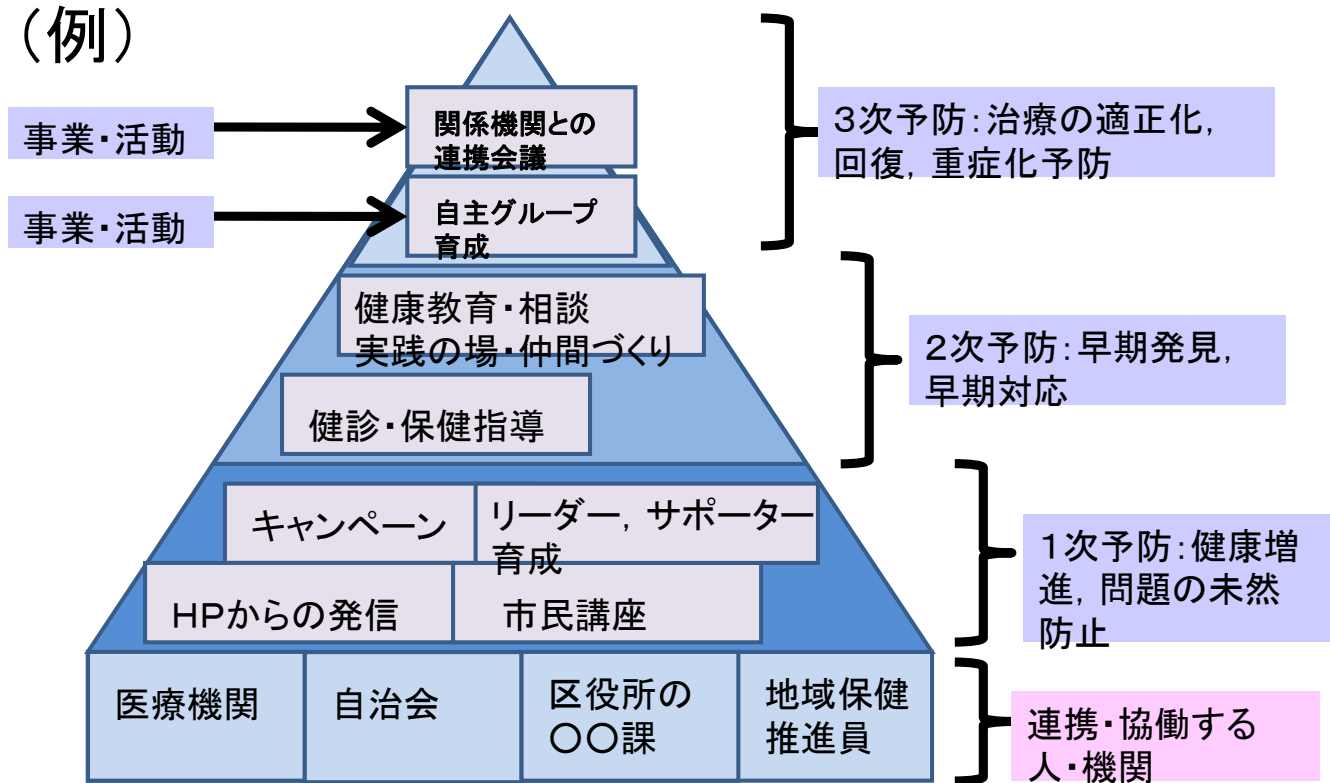
## 効果的な保健指導事業の技術(2) —環境・条件づくりの戦略—

- 生涯のその時々において，主体的な健康づくりの行動を支えることのできる環境・条件づくりが必要である
- 環境・条件は，体制やシステムとして，**「構造」「場」「拡がり」「しくみ・仕掛け」「連携・ネットワーク」**をもつことが重要である
- 人材育成においては，環境・条件づくりの観点から，問題分析，対策案の企画，実施・評価の能力開発が必要である



# 予防活動全体の戦略構造を持つ

(例)



横田紀美子ほか: 地域ぐるみの減塩教育キャンペーンの実際とその評価: 筑西師協和地区・脳卒中半減対策事業 メディアによる健康教育活動, 日本公衛誌, 53(8), p545, 2006.を参考に作成

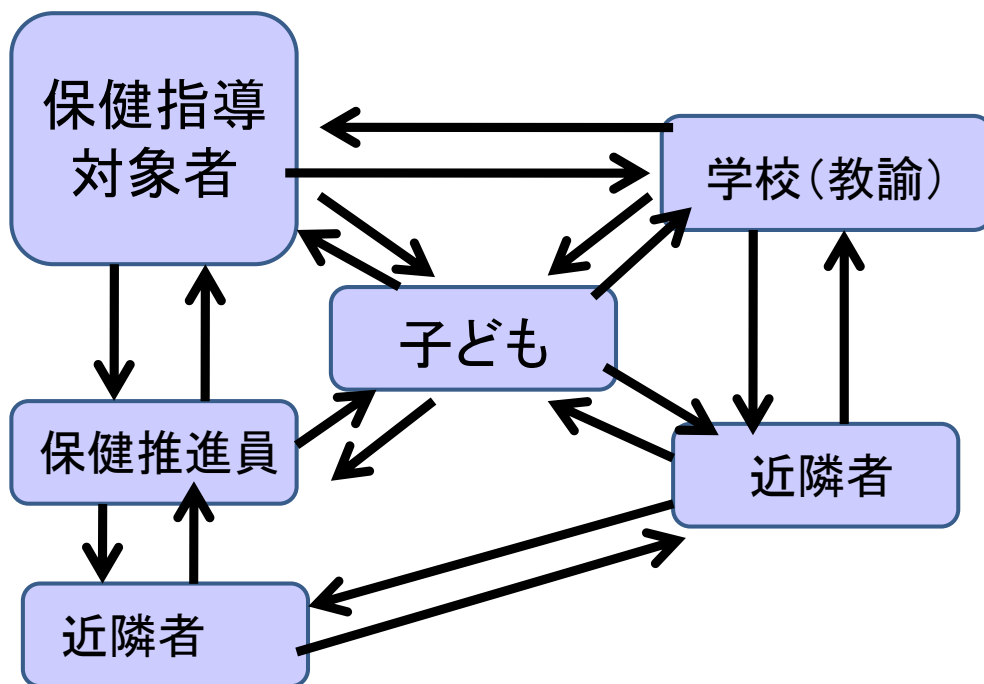
## “場”(コミュニティー空間)と支援の質

生活圏域	VS	広域地域
徒歩圏域: 公民館単位・自治会単位・団地集会所単位		保健所管轄地域
<ul style="list-style-type: none"> <li>開催場所への接近性</li> <li>日常生活との連続性</li> <li>安心感・居心地</li> <li>住民同士の対等な関係性</li> <li>自己の地域・住民への関心</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>支援体制の連続性・一貫性・責任性</li> <li>支援の専門性</li> <li>支援の日常性にも対応できる柔軟性</li> <li>支援の協働性・総合性</li> </ul>
生活者を中心とするネットワーク		専門家を中心とするチームワーク

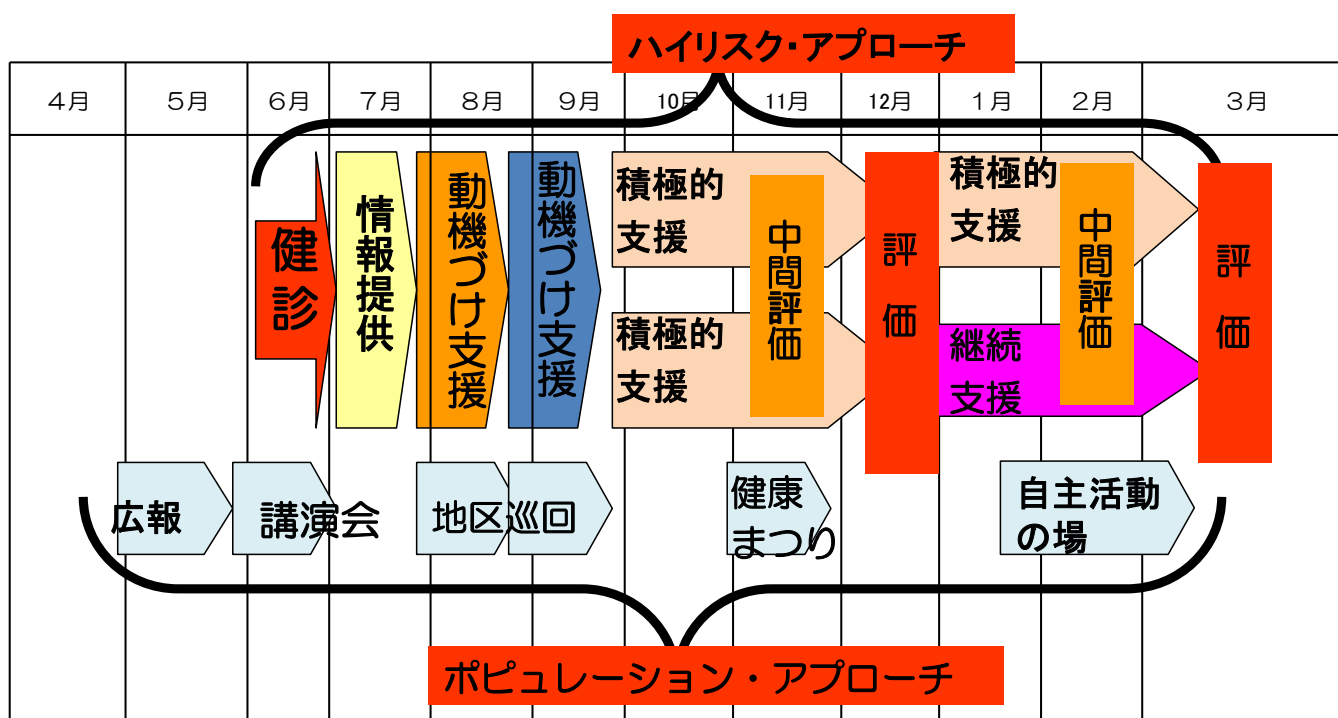
宮崎美砂子他: 地域を単位とした在宅ケアの質の向上にかかわる看護判断, 平成11~13年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書, 2002.

# 予防活動の拡がりの戦略を持つ

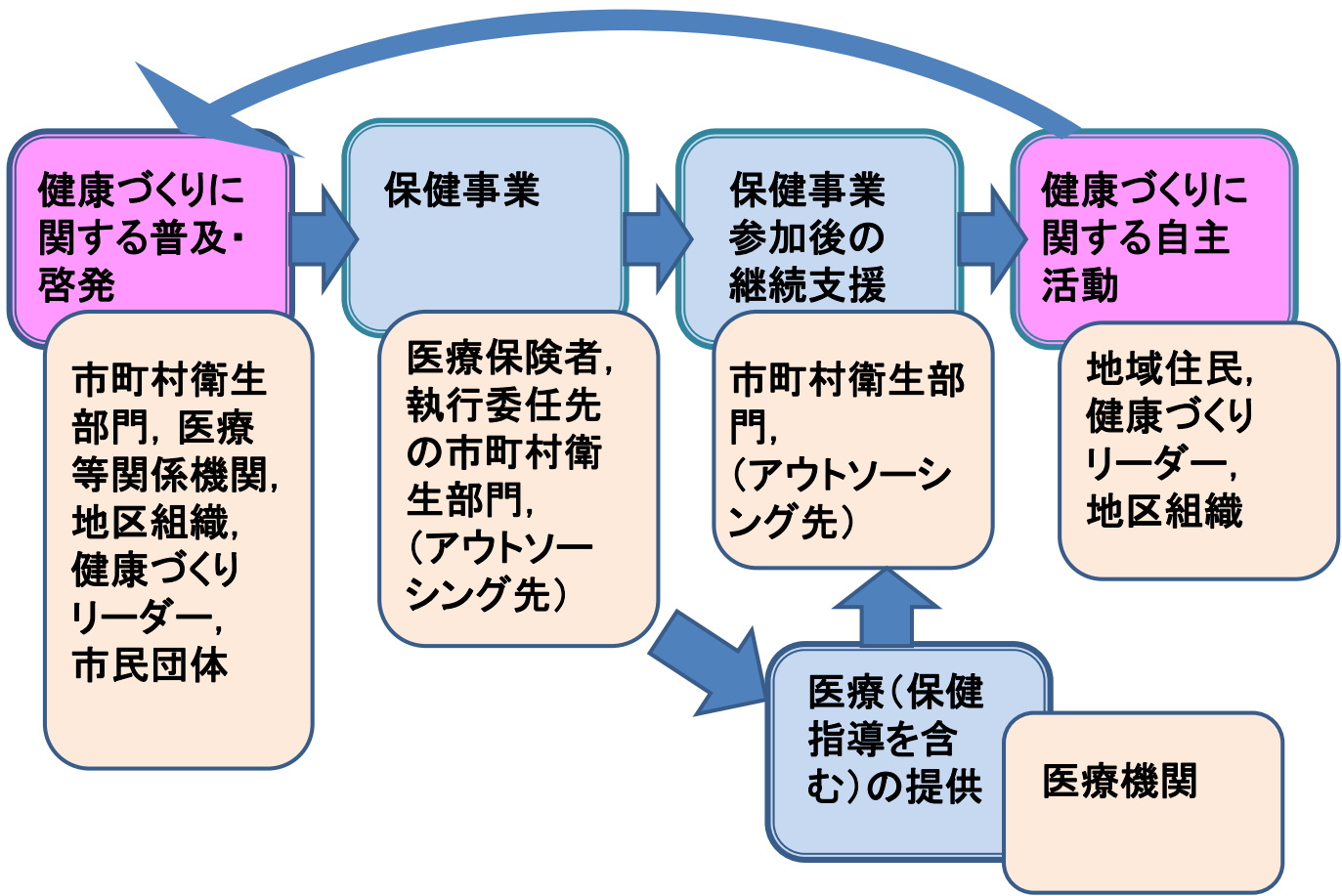
(例)



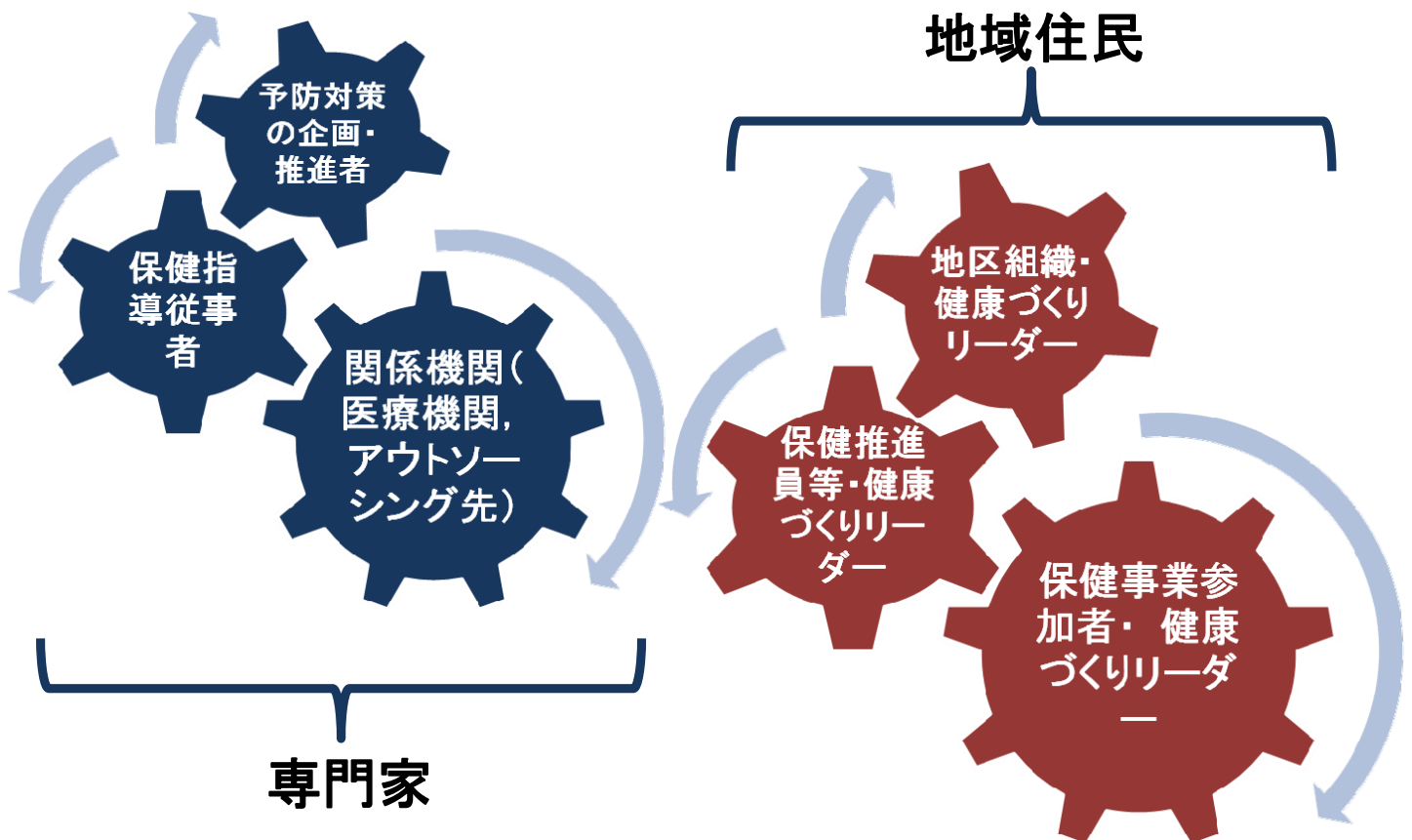
## ポピュレーション・アプローチとハイリスク・アプローチの相乗効果をねらう時期的な「しかけ」をつくる



# 健康づくりの全体像と連携・ネットワーク



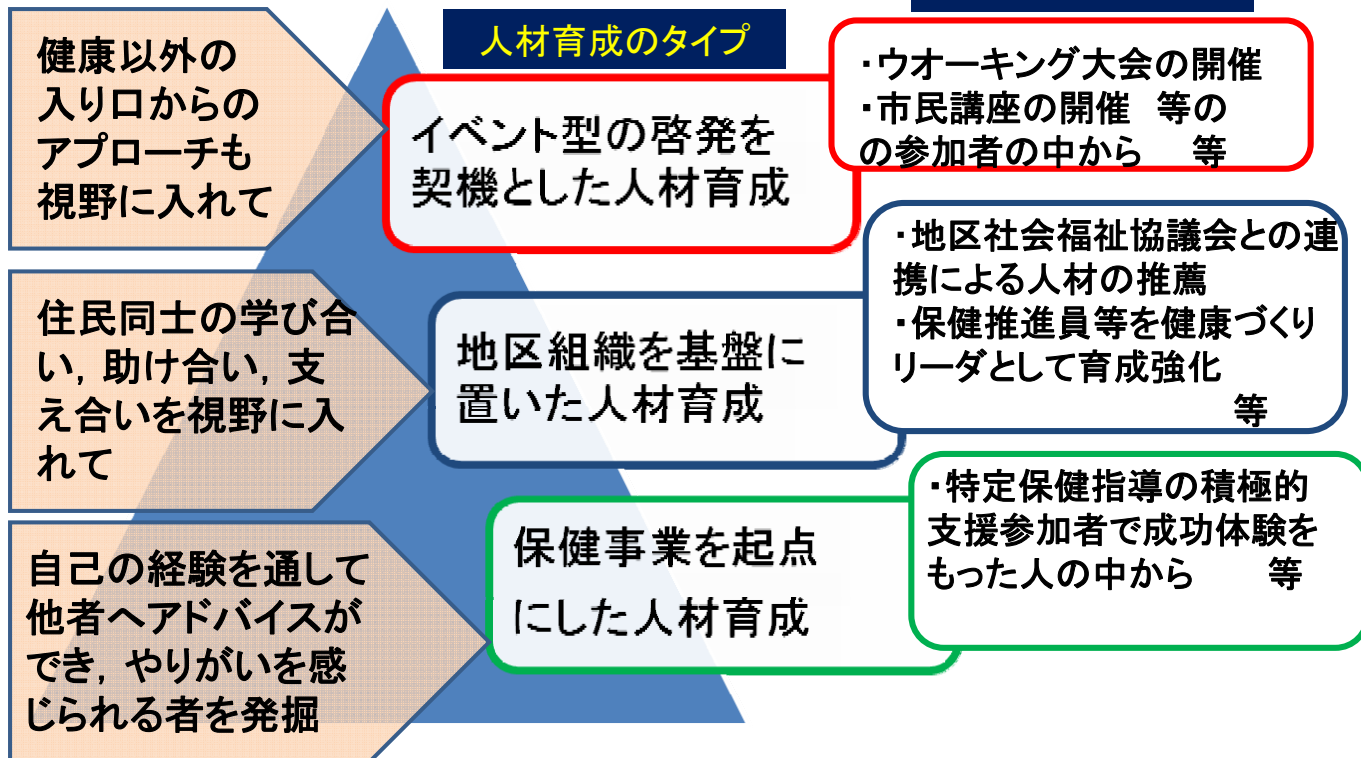
## 健康づくりに関わる人材育成





# 健康づくりの主体となる地域住民の育成

## 例示



## 文献

- 金川克子監修，宮崎美砂子編集：効果的な面接技術と事業展開から学ぶ保健指導，中央法規，2009.
- 金川克子，宮崎美砂子他：新しい特定健診・特定保健指導のすすめ方，中央法規，2007.
- 宮崎美砂子他：地域を単位とした在宅ケアの質の向上にかかわる看護判断，平成11～13年度文部科学省科学研究費補助金基盤研究(C)(2)研究成果報告書，2002. 千葉大学附属図書館CURATOR  
<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/assist1/Hoka-01.pdf>
- ドナルド ショーン，Donald A. Schön(著)，佐藤 学，秋田 喜代美(訳)：専門家の知恵—反省的実践家は行為しながら考える，ゆみる出版，2001.
- サラ バーンズ，クリス バルマン，Sarah Burns, Chris Bulman (著)，田村由美，中田康夫，津田紀子(監訳)：看護における反省的実践—専門的ナースプラクティショナーの成長，ゆみる出版，2005.
- 横田紀美子ほか：地域ぐるみの減塩教育キャンペーンの実際とその評価：筑西師協和地区・脳卒中半減対策事業 メディアによる健康教育活動，日本公衛誌，53(8)，p545，2006.